

記念館だより

2024年2月

「歴史を学ぶことは未来をつくる」

加藤 輝勢子

1月26、27日の両日に雲柱社、イエス団、本所賀川記念館の管理職合同研修会が神戸で行われました。賀川豊彦の志を継いでいるそれぞれの福祉施設が集まり、2年に1度、関西と関東で交互に行われています。コロナの影響で、2020年以来の開催となりました。55名の参加でした。

「平和をつくりだす」というテーマで、開会礼拝から始まり、主題講演は「それでも生きていた＝関東大震災とヘイトクライム＝在日韓国朝鮮人の立場から」として特定非営利活動法人 聖公会生野センター総主事 呉光現（オー ケンヒョン）氏のお話でした。関東大震災の時に謂れのないデマにより、自警団等に朝鮮人虐殺が行われました。関東大震災の死者数は2008年の中央防災会議報告では約105,000人で、うち朝鮮人の死者は約1000～6000人とされていますが、正確な数字はわからないそうです。その理由は調査をしなかったからです。なぜ、こうしたデマが流されたかという点、1919年3月1日に日本の植民地支配下の朝鮮で独立運動が起こり、約8000人の朝鮮人が殺されました。そうした背景を受けて、当時の日本社会の中に「朝鮮人は反抗する」「朝鮮人は日本を恨んでいる」との機運が蔓延していた時の関

東大震災が起こり、朝鮮人の暴動が起こるといったデマが流されたのかもしれない。しかし、これは過去に限ったことではないようです。

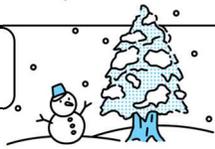
わたしたちが歴史を学ぶのは、未来をつくるためです。しかし、「100年前と現在では、虐殺からヘイトクライムになっている」と言われました。「ヘイトスピーチ・ヘイトクライムは人種、民族、性などのマイノリティに対する差別に基づく攻撃だ」と言われました。実際にいくつかの映像を見せていただき、本当に心が痛みました。差別を打破し「共に生きる」とは知らないことを知っていくこと。小さな声に耳を傾けること。それぞれが認めあうことが大切であると言われました。少数者が安心して生きられる社会、寛容な社会を目指したいと思います。そして、この研修では「平和は守るものではなく、つくりだすもの」だということも学びました。自分たちが知らなかったことや、自分の現場を振り返り、施設長たちが真剣にグループトークをしていたことが印象に残っています。

100年前が今に繋がっていることは事実です。ぜひ、どんな一人ひとりも生きやすい社会になれば、ヘイトクライムなどのない世界になると思います。平和をつくりだしましょう。

本所賀川記念館児童クラブ（児童厚生施設） 2024年2月1日（木）発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 一般財団法人本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

学童クラブ



空気が一段と冷たくなってきましたね。今年も農村留学を実施します。例年とは違い、「角川雪回廊物語」に参加させていただくことになりました。「冬」というテーマを大きな紙に表現しています。大きな雪だるまや雪の上に辰を描いたり、他にもスキーや鏡餅などを表現していました。最初は「何を描こうかな。」「冬って何月のこと?」と考えている様子がありました。一度書き始めると、白紙だった大きな紙があっという間に様々な絵でいっぱいになりました。絵具を混ぜて自分の出したい色を作るなど、みんながそれぞれ一生懸命描いた絵が、雪の回廊に展示されるのがとても楽しみです。

(斎藤)

コスモス食堂



寒い日が続いています。1月は温かいけんちんうどんを作りました。大根や人参、ごぼうや木綿豆腐など、具沢山でボリュームのあるうどんができあがりました！子どもたちは大人一人前をペロリと食べ、満腹の笑みを浮かべていました♪

2月は「お好み焼き」を作る予定です！ぜひご参加ください★ (近藤)

2月10日(土) 10:00~13:00(予定)

記念館トピック

【賀川研究会】

「雨宮先生へのインタビュー」服部栄
『雲の柱』第33号
「雨宮先生からいただいたものを
引き継ぐ」服部栄

2024年2月15日(木)
19:00~20:00

美術教室

第2~4週水曜日 15:00~17:00

講師：亀田谷 亜礼先生



子どもたちみんな、想像のままにのびのびとお絵描きや工作を楽しんでいる美術教室です。

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生



保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪